

## 北広島町の地域農業集団が担い手確保と農地集積の研修

【平成 30 年 12 月 27 日掲載】

北広島町地域農業集団連絡協議会（会長：斎藤義信）は、平成 30 年 12 月 7 日、北広島町の道の駅「豊平どんぐり村どんぐり荘」で、「農地中間管理事業等を活用した新たな担い手の確保」をテーマに研修会を開催しました。

北広島町の地域農業集団の役員など約 90 名が参加し、広島県農地中間管理機構（一般財団法人広島県森林整備・農業振興財団）から、農地中間管理事業のしくみ、県内の事業実施状況や事業を活用した担い手育成の事例などについて説明を受けました。

当所からは、今年度から北広島町西宗でキャベツ栽培に取り組んでいる参入企業の間口アグリファクトリー（株）に関する事例を報告しました。農地集積などに協力した西宗地域農業集団の迫本代表は、「キャベツの出来もよく、農地管理を任せることが出来て良かった。地域の行事へも出てもらって、地域みんなで喜んでいる。」と感想を話されました。農地中間管理機構地域駐在コーディネータの栗末氏からは、「農地と担い手の将来について地域で話合っていこう。」というコメントがありました。

当所は、引き続き、関係機関や地域農業集団と協力して、新規就農者や参入企業と農地をつなぐなど新たな担い手の育成に取り組んでいきます。



【研修会の様子】



【西宗地域農業集団の迫本代表(写真右)】